

TOHATSU

PARTNER

2014年4月1日発行 / 春号

VOL.92

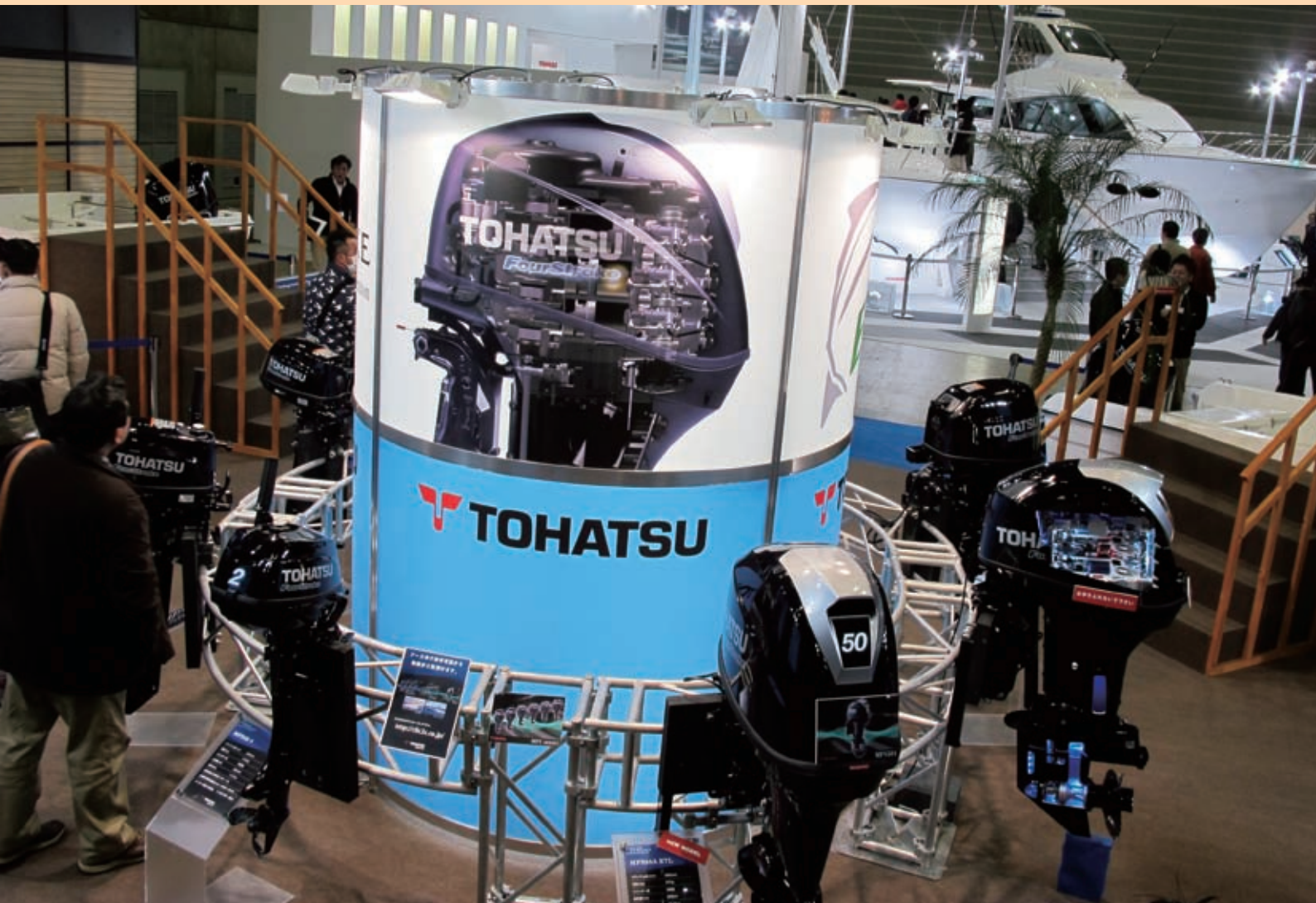


Photo: ジャパンインターナショナルボートショー2014(トーハツ出展ブース)

C O N T E N T S

- 板橋区の青年優秀技能者・技術者を表彰 P2
- トーハツマリン 25 周年記念式典開催 P2
- 「災害時における資器材の調達に関する協定」を締結 P3
- NEW モデル発表試乗会 in 中部・関西・熊本 P3
- 2014 ジャパンインターナショナルボートショー P4~5
- 2014 フィッシングショウ in 大阪 P5
- 東京消防庁に「VF63AS-R」「VC72AS-R」「デッキパン」を納入… P6
- 熊本県山都町消防団様が駒ヶ根工場見学 P6
- 中津川市に「VC72PRO II」10 台納入 P6
- 札幌消防局に「VF21B」16 台納入 P6
- 藤沢市消防団に「VF63AS」8 台納入 P6
- 総務省消防庁様へ救助搭載型車両、機動連絡車を納入… P7
- 日本損害保険協会様より 27 台口納入 P7
- 日本海マリン展示会開催 裏表紙
- 救助・救急関連のプロツール展示 裏表紙

東京商工会議所板橋支部

板橋区の 青年優秀技能者・ 技術者を表彰

〔トーハツの遠藤・羽生の両氏が晴れの受賞〕

東京商工会議所板橋支部（会長／吉村健正氏）の平成 26 年新年賀詞交歓会が、去る 1 月 29 日（水）、来賓者多数出席のもと東京・池袋のホテルメトロポリタンで開催されました。

第一部（式典）の中で第 7 回目を迎えた板橋青年優秀技能者・技術者表彰が行われ、トーハツから技術部の遠藤康彦氏、駒ヶ根工場の羽生光男氏がめでたく受賞。板橋区の優秀技能者・技術者の荣誉に輝きました。

この表彰は、製造業に従事する優れた青年技能者や技術者を讃えることで、技能者・技術者としての誇りと意欲を高め、将来、板橋区の産業基盤を支える後継者として一層の技能・技術の向上を図ろうとするものです。この度表彰された両氏は、可搬消防ポンプの開発、製造に携わっており、高品質の製品を供給すべく日々の研鑽に努めています。

閉会后、トーハツ金子社長や矢内常務らと記念撮影。喜びを噛みしめていました。

この度の受賞、誠にありがとうございます。

（総務部／千葉）



金子社長、矢内常務、工藤部長、松原工場長とともに記念撮影

左から 3 人目：

遠藤康彦さん（技術部）

右から 3 人目：

羽生光男さん（駒ヶ根工場）

TMC Quarter Century Anniversary

1988 年に米国ブランズウィック社との合弁企業として設立されたトーハツマリン(株)は、2013 年で 25 周年を迎え、アメリカ合衆国で記念式典が開催されました。

マーキュリーのシュワペロ社長より 25 周年は驚くべき長い歴史であり、トーハツと共に強い信頼関係を築き、製造ジョイントベンチャーを通じて、成功していることを誇りに思うとのことのお言葉がありました。

金子社長は、今後ともトーハツ・マーキュリーが力を合わせてマリン事業の発展をさせていきたい旨述べられました。トーハツマリンの広瀬社長より金子社長、シュワペロ社長に 25 周年記念の盾が贈呈され、トーハツマリン(株)の従業員には、記念のピンが贈呈されました。

（TMC 経営企画室／松田）



左から 金子社長（トーハツ）、広瀬社長（TMC）、シュワペロ社長（マーキュリー）

「災害時における資器材の調達に関する協定」を締結



東京消防庁志村消防署（原 修消防署長）様とトーハツ(株)（金子 満代表取締役社長）との間で、平成 26 年 1 月 30 日（木）に「災害時における資器材の調達に関する協定」を締結し、震災や水災などの大規模災害発生時に、トーハツ(株)本社（板橋区小豆沢 3 丁目）で保有する消防車両 5 台・可搬式動力ポンプ 6 台を含む同社の消防用資器材を消防部隊に提供する協定を締結しました。

締結に際し、原消防署長は、「大規模災害発生時の消防力強化につながり、区民の皆様にとっても大変心強い協定になります。」と話しました。トーハツ(株)は、区民の皆様の安心・安全のために、できる限り協力させていただきます。

（防災営業部）

NEWモデル

発表試乗会

in
中部



去る2月14日(金)、愛知県知多半島にある(有)鳥新様のご協力を得てMFS50A新商品発表会及び試乗会を開催しました。

前日より発生した南岸低気圧の影響で、当日朝の積雪が10cmを超える大雪に見舞われ、幹線道路も通行止めとなるなど、スリップによる交通事故も懸念されたことから急遽中止を決定しました。

しかし、当日早朝より参加販売店様へ中止を連絡したところ、悪天候にもかかわらず『新型エンジンを一目見たい』『楽しみにしていたのだから試乗したい』と多くの要望が寄せられ、既に電車に向かっていての販売店様もあり、個別対応として開催する事にいたしました。

当日は悪天候にもかかわらず13名にご参加頂き、急遽営業的なプレゼンまたサービスより技術的な講習会を行うことにしました。

講習会の最後にはMFS50A×3台を即注文くださった販売店様もあり、我々スタッフも本当に販売を心待ちにされていたと感じさせられた次第です。

悪天候で試乗は厳しいものでしたが試乗艇が係留された棧橋ではエンジンの始動性、バックの力強さ、バリアブルアイドル機能、自己診断等、真剣に確認されていました。

本当にお寒い中、ご参加頂きまして誠に有難う御座います。

また当日、参加できなかった販売店様には心よりお詫び申し上げます。

(マリン中部/山中)

in
関西



寒さ増す西日本、3月発売を迎えるMFS40A/50Aをいち早く代理店様へPRする為に、2月21日(金)、マリン関西では新西宮ヨットハーバーにて試乗説明会を実施しました。

週末のお忙しい中、沢山の参加者にスタッフ一同驚きと販売展開への期待に胸が熱くなる会になりました。

試乗にはTFW-17RにMFS50Aを搭載したタイプ及びTFW-25RにBFT90を搭載したタイプをご用意しました。試乗後には皆々様よりMFS50Aの加速性と走り及びバック性能の良さをお褒め頂きありがとうございます。

1月より販売を開始したH社OEM(BFT75、BFT90、BFT150)に続き、自社開発MFS40A/50Aを3月より発売します。

通常ラインナップ共々販売にご協力頂けます様宜しくお願い致します。

ご参加頂いた販売店様の方々並びに試乗説明会をお手伝い頂いたスタッフの方々、有難うございました。

(マリン関西/三好)

in
熊本



九州地区販売店様向けに2月27日(木)、熊本県宇土市にある宇土マリーナにてNEWモデル発表試乗会が開催されました。

ご参加者様は、今年発売した船外機MFS50AとBFT90Aを搭載したボートに試乗体感するべく次々と乗り込まれました。後進を多用する地域、シフト操作を多用する地域、急スロットルでの瞬発力が必要な地域など、通常とは違う、地域特性で必要な操作方法が様々あるため、その能力があるのかを見定めていらっしゃいました。

資料や実機による説明も熱心に聞かれており、穴が開くのではないかとと思うくらい資料を読み込んでいました。

そして早速、ご注文・お引き合いを頂き無事に終了することができました。

ご多忙の中で参加いただきました販売店様には厚く御礼申し上げます。

(マリン九州/小畑)



ジャパンインターナショナル ボートショー2014 開催

JAPAN INTERNATIONAL BOATSHOW 2014

本年もマリン関連の楽しさがぎゅっと詰まった、ジャパンインターナショナルボートショー 2014 が、3月6日（木）から9日（日）の四日間、パシフィック横浜と横浜ベイサイドマリーナを舞台に開催され、開期中には、多くの方々が来場されました。

今年のテーマは“365日、海がアソビバ!”。メイン会場には、ボート・ヨット・PWCやマリン関連用品のニューモデルが勢ぞろいしました。トーハツブースには、3月より販売を開始した期待の MFS40A/50A シリーズと大型船外機 BFT シリーズがお目見えしました。舟艇では、BFT150A をセットした TF-250SC、BFT90A をセットした MARVELOUS21 に合わせて、スパンカー仕様の TFW23R も加わりアクティブボトムの新装とともに魅力的な展示が目立ちました。

初日には、開会のあいさつを終えたミス日本「海の日」のお二人がトーハツブースにお見えになり、ボート・船外機を見てまわられ、MFS50A カットモデルに興味深々の様子でした。金子社長も一緒に新製品の前でポーズをとられ、ミスタートーハツの笑顔をいただきました。

TFW-23R に乗船された際には、満面の笑みで撮影会が開始。会場中のフラッシュを浴びている姿が印象的でした。

MFS40A/50A のキャッチコピーは、『ライトウエイトエコスポーツ』。新しいトーハツ船外機の幕開けにふさわしい華やかなボートショーとなりました。

その他にも、昨年発売開始となった MWD50B2 及び MFS6CSP を加えた 2014 年モデルが並び、シーズン突入を前に真剣に船外機購入を検討されるお客様が目立っていました。

景気の回復を期待される声も広く聞こえていますが、自社ブースには、船外機新製品が多機種に渡り並んだ本年。マリン業界の景気底上げのためにも、幅広いユーザーの方々に積極的にアピールを行い、愉しさ溢れる一年間を期待したいと思います。

(マリン課/大坪)





フィッシングショウ
in OSAKA
2014
にコラボで参加

関西に春の訪れが待ちどおしい毎日、釣り人達は道具選びに迷っている今日。

毎年行われる、フィッシングショウ in OSAKA2014 が、去る2月7日（金）～9日（日）の3日間、南港インテックス大阪6号館にて華々しく開催されました。

7日（金）は業者日で賑わい、また土・日は一般の来場者で館内は熱気ムンムン。ご家族連れやアベックなどが多く、駐車場待ち1時間以上は当たり前です。来場者も毎年数万人が来ており、今年もほぼ同様の来場者数と見受けられます。

最近の釣り具はメタルジグなどでのジギング釣りが多く、エサ釣りの出店が少ないので、エサ釣りファンとしては来場の楽しみが軽減されているようでしたが、時代の流れで若者が増えると活気があり、期待できるのかなと思います。

館内では神社が出現しており、本格的に巫女さんがいておみくじも配布され、大漁を祈願してお参り、写真撮影をするお客様が急上昇しており通行規制さえ入る次第です。

トーハツも今回は大阪の有力販売店 リトルポート販売様とのコラボレーションで出展が実現する事となりました。

展示したアスリート（リトルポートオリジナル艇）には当社2馬力・6馬力・9.8馬力とマッチングが良く、来場された方々にはとても新鮮に見えたことでしょうか。試乗会に来て「是非一度は乗ってみたい」と言うお客様が多くみられました。

リトルポート販売の田原社長は今回、自社カタログの内容を吟味して、より良い商品をお客様に提供する事を考えており、精力的にトーハツの製品をアピールして頂きました。

今回も釣りファンは多く、カタログの配布が間に合わず、リトルポート販売様と用意していたカタログ1000枚以上がほぼ完全に近い状態で配布できました。

これから、試乗会や釣り大会での来場に期待が持てると思いますので、リトルポート販売様と共同でPRしていきたいと思ひます。又、来年も開催される事を期待しております。

田原社長有難うございました。

（マリン関西／中野）



1. 東京消防庁団向けに新発売「VF63AS-R」、隊向けに「VC72AS-R」を納入

昨年度より、東京消防庁に配備される可搬消防ポンプが自動中継機能付きポンプとなり、今期、団向けに新発売の「VF63AS-R」が65台、隊向けに「VC72AS-R」が23台を納入することとなりました。完成検査を東京物産(株)の埼玉営業所倉庫で行い、倉庫内はポンプで埋め尽くされ圧倒されてしまうほど…。

検査前日まで、ポンプ及び台車の整備、消防資機材の準備を行いました。検査は同庁より検査官が数名立会い、東京物産(株)様と共に仕様書との整合性や員数検査等細かいところまで検査が行われました。検査は無事に合格！

団向けの「VF63AS-R」は東京23区内の消防団に、隊向けの「VC72AS-R」は都内消防署に配備されます。

この度はトナーポンプをご採用頂きました東京消防庁様、並びに納入の際ご尽力頂いた東京物産(株)様には厚く御礼申し上げます。



2. 東京消防庁団向けにデッキバンを納入

去る1月25日(土)、東京消防庁夢の島訓練場にて、デッキバン15台の完成検査及び配備式が行われました。機動力UPのため、手引き台車からデッキバンに更新されています。

完成検査は何事もなく終了。配備式では、東京消防庁防災課長をはじめ、配備される消防署担当者が出席。その後、デッキバンの取扱説明を行い各消防団に配備されました。

(防災中央/小鷹)



熊本県山都町消防団工場見学



今年の新年号で紹介したVF53AS5台、VF21AS7台一括購入をして頂いた熊本県山都町消防団様が、去る11月22日(金)に駒ヶ根工場を訪れました。

山都町消防団様は、自分達が使用している消防ポンプはどこで製造し、どんな製造現場で製造されているかを自分達の目で確かめたく今回の工場見学が実現致しました。

早速、駒ヶ根工場に到着後、ポンプ棟での見学を行いVCシリーズ、VFシリーズの組立現場を見学して頂きました。そして運転場にご案内し同年に納入した同機種種の検査風景を見学されました。見学を通して消防団長からトナーポンプで良かったとお言葉を頂き感謝致します。

山都町消防団様の今後のご活躍を祈念申し上げます。お疲れ様でした。

(防災九州/田中)

中津川市にVC72 PRO IIを10台納入



昨年12月19日(木)、岐阜県中津川市にVC72PRO II 10台が納入されました。約670km²の面積におよそ8万人が暮らす当市には山地も多く、消防団は文字通り地域防災の要であります。

吸水スピードと放水性能に優れた同機が納入されたこの日には、ポンプ車1台と積載車5台も合わせて納入され、消防団の装備強化が図られました。

あいにくの雨天の中でしたが、青山市長から交付を受けた団員さんたちはその後の取扱説明に熱心に耳を傾け、最新機器の納入を喜んでいらっしゃいました。

納入に際しご尽力いただいた(株)ウスイ消防様には厚く御礼申し上げます。

(防災中部/福田)

札幌消防局に「VF21B」を納入



昨年度より北海道札幌消防局管内に配備されている約80台の可搬消防ポンプが、一般財団法人日本消防設備安全センター推奨品の環境にやさしい4ストローク「VF21」に随時更新されています。今期は16台を一気に更新！

これから札幌市民の安心・安全に活躍してくれることを期待します。

この度はトナーポンプをご採用頂きました札幌消防局様、並びに納入の際ご尽力頂いた(株)北海道モリタ様には厚く御礼申し上げます。

(防災中央/小鷹)

神奈川県藤沢市消防団にVF63AS 8台納入



晴天の空の下、神奈川県藤沢市消防団にVF63ASが納入されました。藤沢市は防災力強化の為、毎年、防災資機材を購入しておりました。この度納入されたポンプは大規模災害時用として防災力の拡充を図るために、各消防団に配備されました。

引き渡し式では米山商事(株)君島様からの納入説明を行ったあとに各団員の方が実際に放水をし始動性の良さ、エンジンの静かさにびっくりする場面もありました。『静かだと夜、朝の早い時間の訓練が出来る』と言う団員もいらっしゃいました。

(防災中央)

総務省消防庁

救助資機材及び小型動力ポンプ搭載型車両 51台口納入、 小型動力ポンプ積載型軽自動車 63台口納入



鹿児島県与論町



沖縄県伊江村

救助搭載型車両を全国配備!!

総務省消防庁の入札物件をトーハツ(株)にて落札し全国に納入しております。東日本大震災は甚大なる被害をもたらし、また、地域消防力のかなめである消防団員の尊い命が失われました。

これらの教訓を捉え、火災、救助、水難、情報伝達などを網羅する資機材を搭載した車両を、北は北海道、南は沖縄県に順次配備しております。

【救助資機材及び小型動力ポンプ搭載型車両 仕様】

シャシ：いすゞエルフNHS85

ポンプ：VF63AS (B2級)

主な資機材：電動油圧コンビツール、エンジンカッター、チェーンソー、オートマチック車37台、マニュアル車14台

【小型動力ポンプ積載型軽自動車 仕様】

シャシ：ダイハツデッキバン EBD-S331W-ZPRF

(AT車45台、MT車18台 計63台)

ポンプ：VF63AS (B2級)

主な資機材：ディスクストレーナー、コワレンパー、流量計、ポンプ電動リフター等

(防災営業部)

機動連絡車納車完了

昨年、総務省消防庁様より受注を頂いた、機動連絡車33台の納車が3月末に無事完了致しました。昨年度に引き続き、北は北海道から南は沖縄まで、全国に33台配置されています。

車両はトヨタ車のランドクルーザー 200 をベースに、無線機や赤色警光灯などを備え、緊急走行が可能な車両となっています。

車両上部には資機材や荷物が積めるようにルーフラックも設置し、またラックの左右後方部分には夜間時の活動や、高所作業等に使用できる様サーチライトを装備しています。

車内後部座席は簡単に収納出来る様になっており、収納時は荷物等も十分に積めるスペースを確保しています。

また、近年頻繁に発生している、集中豪雨等による水害があった場合にも、救助用ボート等を牽引して救助活動に向かえる様、ヒッチメンバー(牽引装置)も装備しました。

納車先の消防の方々も、これだけの車両であればどんな悪路でも走行して現場に向かえますと、日本一の4WD車とも言われる車両ベースの機動連絡車に感銘を受けられていました。

今回納車した車両が、その名の通りどんな悪条件な現場でもその機動力を発揮し、災害現場での情報収集後続車両への情報伝達等、様々な場面で幅広い活動のお役に立てばと考えています。

今回ご採用頂きました総務省消防庁様には深くお礼を申し上げます。また、納車にあたり、ご協力頂きました各関係者様にも合わせてお礼を申し上げます。

(積載車プロジェクト/桑澤)



【主な仕様】

エンジン：V型8気筒ガソリンエンジン

ミッション：6速AT

駆動：フルタイム4WD

燃料：ハイオク

乗車定員：8名

長さ：500cm、幅：197cm、高さ：225cm

装備：車載デジタル無線機、携帯アナログ無線機、電子サイレンアンプ、LED マップランプ、ルーフラック/リヤラダー、サーチライト、ヒッチメンバー、散光式回転灯/赤色点滅灯、モーターサイレン 等

一般社団法人 日本損害保険協会 小型動力ポンプ付 軽消防自動車 27台口納入



日本損害保険協会様より、2013年度は、全国20市区町村および離島7市町村に小型動力ポンプ付軽消防自動車27台が寄贈されました。

全国の消防力の強化・拡充に協力するため、1952年度から全国の市区町村に消防車を2,663台、1982年度から離島に軽消防自動車などの消防資機材を689台(軽消防自動車172台、小型動力ポンプ517台)寄贈し、寄贈累計は3,352台(消防車2,835台、小型動力ポンプ517台)となりました。

(防災営業部)

日本海マリン展示会開催



去る2月8日(土)~9日(日)、富山県パイロット店 日本海マリン 城光寺マリーナにて展示即売会が行われました。

富山湾はその水深の深さと魚の豊富さで知られ、冬の時期でも海が比較的穏やかであるため、年間を通して釣り客に好まれています。幅広いユーザーに愛される日本海マリンのイベントは年間を通して開催されていますが、2014年は、新たな試みで挑みました。

春を待ち、マリン業界にとってはシーズンを迎えますが、業界のシーズンオフ時期に開催することで、積極的にかつ柔軟な姿勢で対応していきたいという、新田社長の熱意により、この時期に展示会が開催される運びとなりました。

初日は天候に恵まれず、雪と風の強い一日でしたが、日本海マリンの恵まれた施設とあたたかな配慮のおかげで、担当としても情熱あふれた対応ができました。また、生憎の雪にも関わらず、マリン製品が一堂に集まる展示会とあって、多くのお客様が来場され、各社営業マンの説明を熱心に聞いていました。

最終日は、朝から日が差したため、艇庫より棧橋に船を降ろし出港されるユーザーの姿も見え、富山湾のあふれる魅力を感じることができました。ご家族で来場されるお客様も目立ち、これからのマリンライフを夢見る姿が印象的でした。

当日、出展したTFW-23Rは、数ある展示艇の中でも、優雅で上品な専用ハル色が冴え、ひときわ目立つ存在となっていました。ユーザーの方々が、好みの艦装をし、世界にたった一つの愛機を仕上げる魅力が満載です。2014年より販売が開始されたBFTモデル、3月より販売が開始されるMFS50Aとセット艇の選択肢も増え、ますます笑顔も広がることでしょう。

(マリン課/大坪)

全国消防の救助担当・救急隊員による
シンポジウムが開催

救助・救急関連のプロツール展示

平成25年12月、平成26年1月に相次いで、全国消防の救助担当ならびに救急隊員によるシンポジウムが開催されました。当社も、下記の通り出展いたしましたので、報告いたします。

催事名	第16回全国消防救助シンポジウム	第22回全国救急隊員シンポジウム 救急資器材展(併設展示会)
開催日時	平成25年12月13日(金)	平成26年1月30日(木)~31日(金)
会場	日比谷公会堂(東京都)	西日本総合展示場新館、 北九州国際展示場(北九州市)
来場者数	約2,000名	約7,000名(シンポジウム) 約3,800名(展示会)
出展者数	10社	38社
出展物	ウレタン注入型ボート、トーハツJET船外機、ウレタン注入型救命胴衣、水中探査装置(ROV)、曳航式ソナー、水中探索機(ソナー・GPS・水中カメラ)、熱画像直視装置(ヘルメット装着型、手持ち型)、赤外線温度警報装置、画像探索機、Go-Pro HERO3カメラ、レザーマン・マルチツール、STREAMライト、タクティカル・パッド(肘・膝用)	救急資器材搬送用EMSバッグ、ウエスト&レッグポーチ、バックボード・スクープ用緩衝材、バックボード用感染防止カバー、バイタルサイン測定キット、化学防護服、防じんマスク、耳せん、抗菌・消臭スプレー、嘔吐物処理キット、GOストレッチャー(布担架)、イス形布担架、ハンド-E(傷病者確保帯)、自着性救急包帯/バンテージ、CPRトレーニング・マネキン、クイックシールドプロ



(防災営業部 救助・救急資器材担当/友田)

発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-5-4

TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社

トーハツパートナー編集局

編集兼発行責任者 日向 勇美/青山 滋